

- 問1 平安時代に、地方に赴任せずに京に留まったまま役職だけを持つ国司のことを何という？
- 問2 清少納言が記した、宮廷の生活や自然について独自の感性で書きつづった日本を代表する文学形式は何？
- 問3 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？
- 問4 794年、奈良の平城京から都を現在の京都へ移し、新しい都を建設した天皇は誰？
- 問5 平治の乱で勝利し、武士として初めて太政大臣に任命された人物は誰？
- 問6 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？
- 問7 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？
- 問8 平安時代に発達し、日本の物語文学が発展するきっかけとなった、日本語の音を書き表す文字を何という？
- 問9 平安時代に唐から帰国し、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧は誰？
- 問10 国風文化のなかで、漢字を簡略化して作られた文字を何という？
- 問11 「この世をば わが世とぞ思う…」と詠み、当時の絶大な権力を誇示した人物は誰？
- 問12 1086年に天皇の位を譲った後、上皇として御所外から政治の実権を握った人物は誰？
- 問13 平安時代中期、天皇の后を出すことで政治の実権を握った代表的な一族は誰？
- 問14 平安時代中期、貴族の邸宅として発展した日本独自の建築様式を何という？
- 問15 『源氏物語』を書き、平安時代の国風文化を代表する女性作家は誰？
- 問16 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？
- 問17 平安時代、父・道長の別荘を寺院に改め、宇治に平等院鳳凰堂を建立した人物は誰？
- 問18 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？
- 問19 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？
- 問20 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？
- 問21 平安時代に宮廷の出来事や自然の美しさを短文でつづった、日本最古の随筆を著した女性是谁？
- 問22 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？
- 問23 平等院鳳凰堂などの建築に影響を与えた、阿弥陀仏にすぎる信仰を何という？